

エコアクション 環境経営レポート 2021年度

対象期間 令和3年4月～令和4年3月



発行日 令和4年4月28日

栃木トヨタ自動車株式会社

目 次

1 : 組織の概要	P. 2
2 : 対象範囲	P. 5
3 : 環境経営方針	P. 6
4 : 環境負荷の推移	P. 8
5 : 環境経営目標	P. 9
6 : 環境経営計画	P. 10
7 : 環境経営目標の実績、及び環境活動の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	P. 11
8 : 環境関連法規等の状況確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	P. 12
9 : 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 13

1：組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

栃木トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 新井 孝則

(2) 所在地

本社 〒321-0191

栃木県宇都宮市横田新町 3-47

TEL 028-653-1210

他は「栃木トヨタ自動車店舗一覧」

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 常務役員 松本 貴則

主担当者 総務部 柏渕 光雄

担当者 総務部 金子 毅

サービス部 福田 忠

U-Car 部 増田 茂範

財務部 橋本 祐一

新車部 廣瀬 光一

(4) 事業活動

①新車、中古車の販売

②自動車用品、部品の販売

③自動車の点検整備（板金、塗装含む）

④損害保険、生命保険の代理店業務

⑤JAF 加入促進

(5) 事業の規模

資本金 1 億円

全従業員数 628 名

店舗数 ①トヨタ：20 店舗 ②中古車(U-c a r)：6 店舗

③レクサス：1 店舗 ④B Pセンター：3センター

年商 346 億円 (R3 年 4 月～R4 年 3 月)

新車販売台数 7,649 台 《内 HV 車両 3,780 台 49.4%》

中古車販売台数 2,896 台 《内 HV 車両 1,336 台 46.1%》

自動車の点検整備 総在庫台数 195,561 台

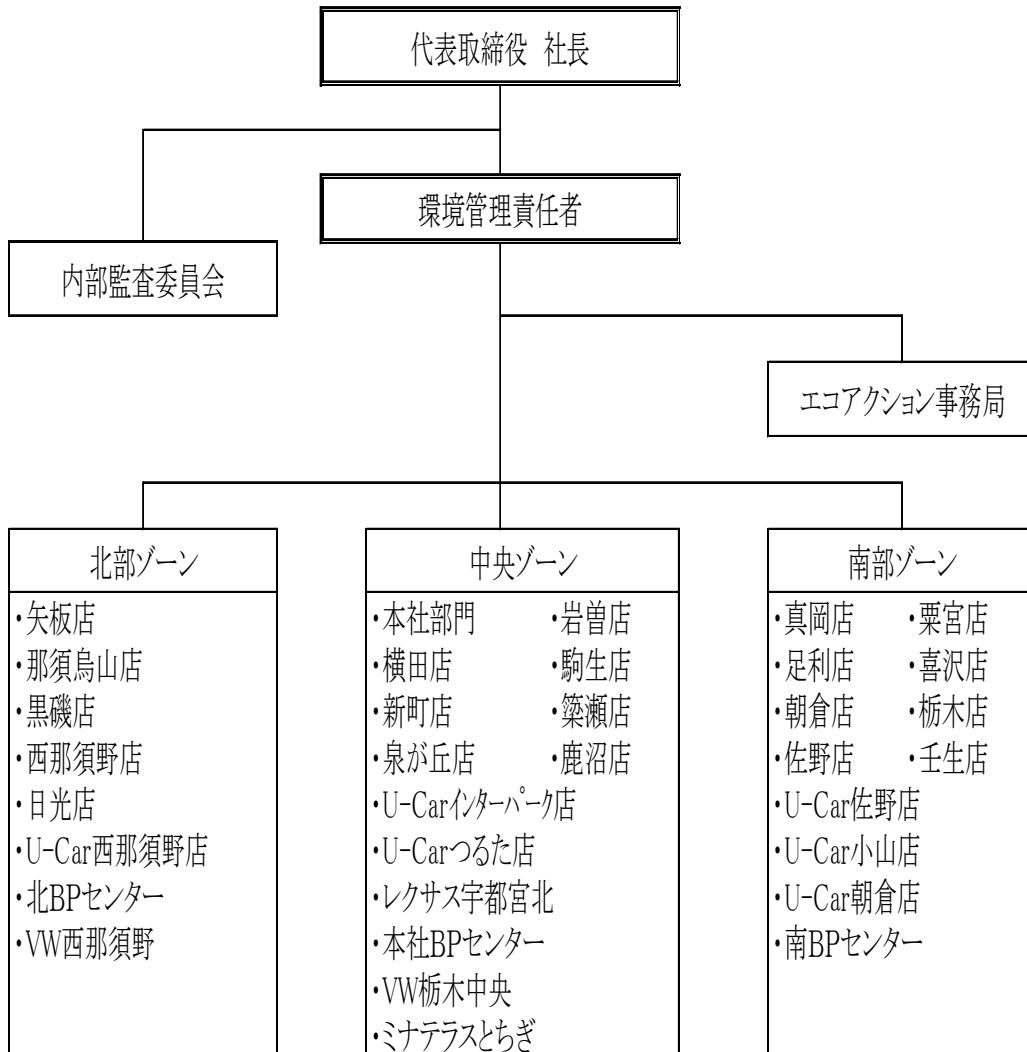
自動車保険新規取扱件数 2,080 件

J A F 加入件数 3,316 件

(6) 環境経営システム組織図

2021年10月1日 作成

環境経営システム組織図



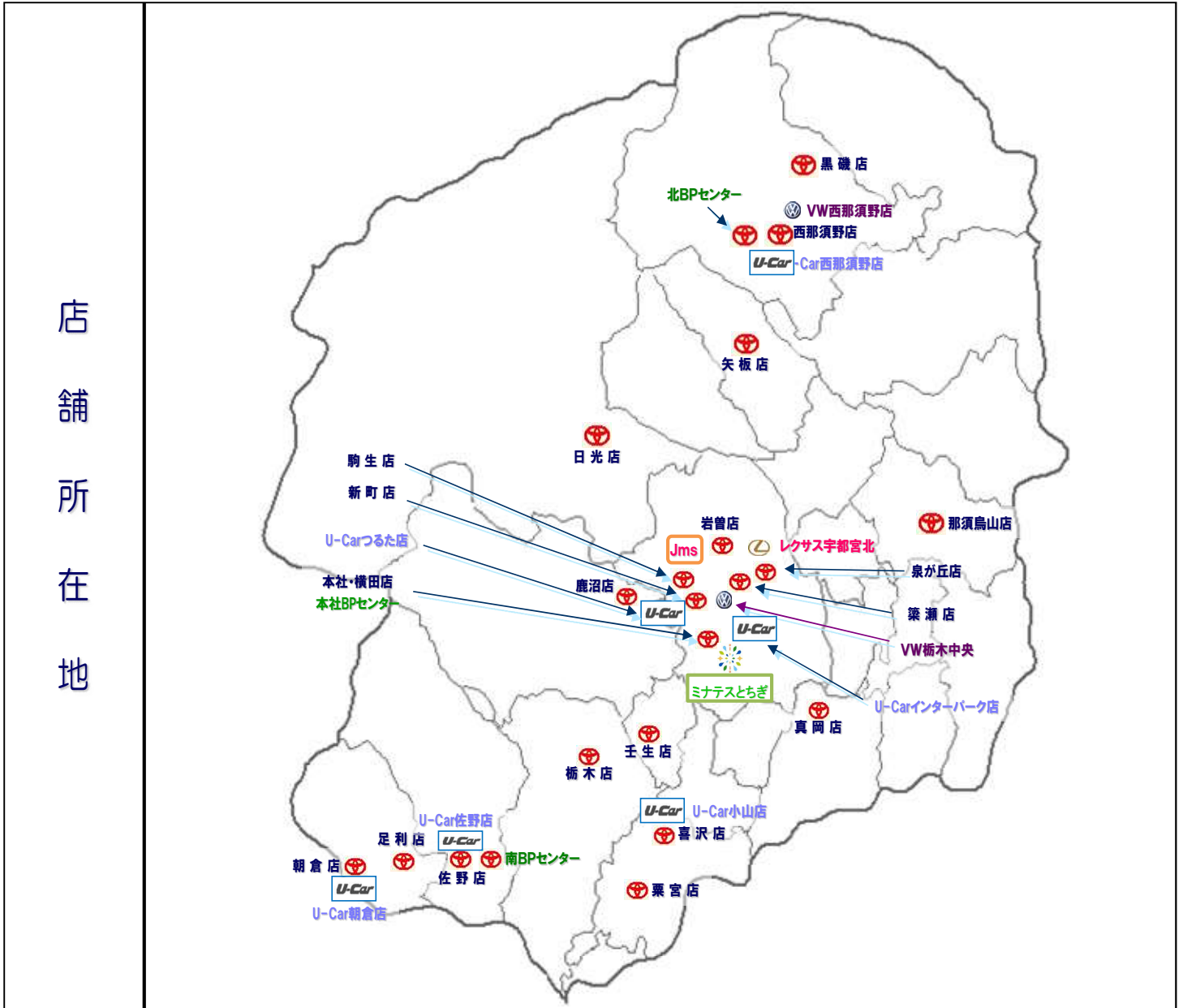
栃木トヨタ自動車株式会社

栃木トヨタ自動車株式会社 店舗一覧

	部署	郵便番号	住所	電話
1	本社	〒321-0105	宇都宮市 横田新町 3番47号	028(653)1210
2	横田店	〒321-0105	同上	028(653)1212
3	新町店	〒320-0831	宇都宮市 新町 1丁目2番2号	028(633)5431
4	泉が丘店	〒321-0952	宇都宮市 泉が丘 5丁目7番32号	028(662)7411
5	岩曾店	〒321-0973	宇都宮市 岩曾町 1245番地6	028(662)8811
6	駒生店	〒320-0851	宇都宮市 鶴田町 2025番地	028(648)2221
7	築瀬店	〒321-0933	宇都宮市 築瀬町 1285番5号	028(639)5311
8	鹿沼店	〒322-0026	鹿沼市 茂呂 769番1号	0289(76)6530
9	真岡店	〒321-4337	真岡市 上高間木 2丁目7番地2	0285(83)2311
10	足利店	〒326-0021	足利市 山川町 831番1号	0284(41)7331
11	朝倉店	〒326-0823	足利市 朝倉町 256番地1	0284(71)2525
12	U-Car 朝倉店	〒326-0823	同上	0284(71)6100
13	佐野店	〒327-0821	佐野市 高萩町 448番5号	0283(23)1671
14	U-Car 佐野店	〒327-0821	同上	0283(27)2213
15	栗宮店	〒329-0201	小山市 栗宮 1丁目14番23号	0285(25)2515
16	喜沢店	〒323-0014	小山市 喜沢 660番130号	0285(25)7788
17	U-Car 小山市	〒323-0014	小山市 喜沢 660番127号	0285(25)7833
18	栃木店	〒328-0124	栃木市 野中町 1351番地8	0282(23)5200
19	壬生店	〒321-0218	下都賀郡壬生町落合 1丁目15番4号	0282(82)7811
20	矢板店	〒329-2135	矢板市 中 370番1号	0287(43)5511
21	那須烏山店	〒321-0602	那須烏山市 大桶 973番1号	0287(83)1181
22	黒磯店	〒325-0027	那須塩原市 共墾社 96番9号	0287(62)1606
23	西那須野店	〒329-2745	那須塩原市 三区町 628番11号	0287(36)5111
24	U-Car 西那須野店	〒329-2745	同上	0287(36)4666
25	日光店	〒321-2335	日光市 森友 713番地	0288(22)1031
26	レクサス宇都宮北	〒321-0984	宇都宮市 御幸町 84番地	028(613)2335
27	U-Car インターパーク店	〒321-0118	宇都宮市 インターパーク 4丁目2番7号	028(657)8100
28	U-Car つるた店	〒320-0851	宇都宮市 鶴田町 1452番3号	028(649)1300
29	本社BPセンター	〒321-0191	宇都宮市 横田新町 3番47号	028(653)6789
30	北BPセンター	〒329-2746	那須塩原市 四区町 681番3号	0287(39)6222
31	南BPセンター	〒327-0812	佐野市 町谷町 154番地1	0283(27)1181
32	VW栃木中央	〒321-0933	宇都宮市 築瀬町 1594番1号	028(639)3911
33	VW西那須野	〒329-2733	那須塩原市 二区町 352番地33	0287(46)5811
34	ミナテラスとちぎ	〒321-0118	宇都宮市 インターパーク 6丁目2番1号	028(656)3715

2：対象範囲

栃木トヨタ自動車株式会社は、前記の全ての組織及び1.(4)の事業活動を取組の範囲対象としている。



3：環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

栃木トヨタ自動車株式会社は、環境問題への対応を経営の最重要課題であると考えています。企業活動を通じ、地域社会への貢献と共生を図るため、環境負荷への低減と継続的な改善に取り組みます。

《基本方針》

積極的にコミュニティーに関わり、環境に関する情報や対応などを発信し、豊かな社会づくりに貢献します。そして、当社に関係する1人1人が『気付くこと』常に実践し環境保全及び汚染の防止に努めます。

《重点的に取り組む事項》

- ・従業員の健康と安全を確保し快適な作業環境を促進します。
- ・普段から5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を心がけ実行いたします。
- ・日常の活動からムダを見分け、電力消費量を削減します。
- ・使用状況を把握し、車両燃料を削減します。
- ・ゴミの分別をしっかりと実施し、廃棄物を削減します。
- ・水の使用量を削減します。
- ・環境に関する法令等を遵守します。
- ・環境経営方針を社内及び、事業関係者に周知します。

2019年 7月 1日

栃木トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 新井 孝 則

健康経営優良法人2022 (ホワイト500) 認定



当社は、社員の心と身体健康維持・増進に積極的に関わり、健康で長く働ける職場環境を目指して『栃木トヨタ健康経営』を推進しております。

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において、優良な健康経営を実施している企業として、2022年3月9日「健康経営優良法人2022 (ホワイト500)」に認定されました。当認定を受けるのは、2019年に続き4年連続です。

〈『栃木トヨタ健康経営推進』について〉

【目的】

会社が、社員の心身にわたる健康維持、増進に積極的に関わり、健康で長く働ける職場環境を目指す企業活動。

- ・生産性の向上 ・企業価値の向上 ・医療費の抑制

【効果】

- ・欠勤や体調不良の減少によるパフォーマンスの向上 ・社員の安心感高揚
- ・ロイヤリティの向上 ・優秀な人材の獲得 ・定着率の向上 ・健保組合の財政健全化

【目指すべき姿】

- ・社員が健康で長く働ける職場 ・生活習慣病の発症や要介護状態に陥るリスクの低減
- ・第二の人生においても健康で活発な経済・社会活動に参加

〈主な取組み〉

- 定期健康診断の100%実施
- 特定保健指導の実施率向上
- 各種費用補助制度
- 受動喫煙防止
- メンタルヘルス対策
- ワークライフバランスの促進
- 健康・体力づくりイベントの開催



▲職員組合主催スポーツ大会



▲ヨガ教室

4：環境負荷の推移

2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）						
環境への負荷			単位	2019年度	2020年度	2021年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO ₂	3,336,113.2	3,414,280.1	3,474,908.1
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	リサイクル	t	96.8	61.0	61.0
		中間処理	t	95.1	94.5	94.5
	産業廃棄物	リサイクル	t	51.4	40.0	42.6
		中間処理	t	223.5	321.8	305.3
③-1 総排水量	公共用水域		m ³	5,749.0	4,929.0	4,748.0
	下水道		m ³	34,473.0	35,987.0	37,421.0
③-2 水使用量	上水		m ³	38,947.0	39,386.0	40,789.0
	地下水		m ³	1,275.0	1,530.0	1,380.0
④ 化学物質使用量	エチルベンゼン		kg	316.3	322.0	300.4
	キシレン		kg	574.5	622.2	586.3
	スチレン		kg	0.0	0.0	0.0
	1.2.4トリメチルベンゼン		kg	42.4	43.6	45.6
	1.3.5トリメチルベンゼン		kg	2.5	3.1	2.9
	トルエン		kg	923.4	856.9	777.5
	メチルエチルケトン		kg	81.9	156.4	98.7
	メチルイソブチルケトン		kg	79.8	90.2	87.3
	ノルマルヘキサン		kg	98.0	21.0	55.0
	ジクロロメタン		kg	0.0	0.0	0.0
⑤ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）		MJ	21,987,068.7	22,066,136.3	21,353,106.4
	化石燃料		MJ	46,648,771.9	42,923,995.3	42,641,700.2

○①温室効果ガス排出量（二酸化炭素）、②廃棄物排出量、③-1総排水量、④化学物質使用量は必須項目です。なお、総排水量の把握が困難な場合には、③-2水使用量が把握必須項目となります。

○各指標の値については次頁以降の集計結果を記入してください。

○購入電力の排出係数は、平成29年度公表 東京電力の排出係数 0.518kg-CO₂/kwh を使用しています。

5 : 環境経営目標

	項目	単位	2018年度 基準 (2018年4月～ 2019年3月)	2019年度 目標 (2019年4月～ 2020年3月)	2020年度 目標 (2020年4月～ 2021年3月)	2021年度 目標 (2021年4月～ 2022年3月)
二酸化炭素削減に関する項目	①電気使用量		基準値(売上対比)	基準年 -0.5%	基準年 -1%	基準年 -1.5%
			4,316,567	4,294,984	4,273,401	4,251,818
	(使用量の削減)	kWh	0.8342	0.8300	0.8258	0.8216
	②ガソリン・軽油 使用量		基準値(売上対比)	基準年 -0.5%	基準年 -1%	基準年 -1.5%
			449,196	446,950	444,704	442,458
	(使用量の削減)	リットル	0.0868	0.0864	0.0859	0.0855
	③LPG・都市ガス 使用量		基準値(売上対比)	基準年 -1%	基準年 -2%	基準年 -3%
			53,528.4	52993.1	52457.8	51922.5
	(使用量の削減)	m ³	0.0103	0.0102	0.0101	0.0100
廃棄物削減に関する項目	④一般廃棄物		基準値(売上対比)	基準年 -1%	基準年 -2%	基準年 -3%
			92,747	91,820	90,892	89,965
	(可燃ごみ削減)	kg	0.0179	0.0177	0.0176	0.0174
	⑤廃プラスチック		基準値(売上対比)	基準年 -1%	基準年 -2%	基準年 -3%
	(分別による削減)	kg	0.0154	0.0152	0.0151	0.0149
⑥水使用量		基準値(入庫台数比)	基準年 -1%	基準年 -2%	基準年 -3%	
		40,693	40,286	39,879	39,472	
(使用量の削減)	m ³	0.1907	0.1888	0.1869	0.1850	
⑦化学物質使用量 全BPセンター (トルエン使用量の削減)		基準値(完成台数対比)	基準年 -0.5%	基準年 -1%	基準年 -1.5%	
		990.09	985.14	980.19	975.24	
	kg	0.2127	0.2116	0.2106	0.2095	
H30年度 総売り上げ額		5,174,738	5,217,220	5,312,480	5,452,370	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
H30年度 総入庫台数		213,395	203,113	197,828	195,561	
		(台)	(台)	(台)	(台)	
H30年度 3BP完成台数		4,655	4,256	3,928	3,859	
		(台)	(台)	(台)	(台)	

6：環境経営計画（2021年）

（1）二酸化炭素削減に関する項目

① 電気使用量の削減

- ・ 離席時の消灯節電
- ・ 人感センサー照明の推進
- ・ 空調を適正温度で運転（設定温度 夏26℃・冬22℃）
- ・ フロア別に時間差で空調を運転、起動電流の抑制
- ・ 夏換気を行い、室温を下げてからエアコン使用
- ・ 時間帯に合わせた照明の点灯

② ガソリン・軽油の使用量削減

- ・ 性能が低下しないようエンジンオイル交換（エンジン負荷軽減）
- ・ 走行ルートを決めた運行
- ・ 急発進をしない、急ブレーキを掛けない
- ・ 車間距離をとり速度変化を抑制
- ・ A/C（OFF）使用抑制（オート機能のままにしない）
- ・ アイドリングストップ
- ・ 不要な荷物を乗せない
- ・ タイヤ空気圧のチェック（転がり抵抗の軽減）
- ・ 自車の燃費を把握する

③ ガス使用量を削減

- ・ 時間管理で遠赤ヒーターを使用する。

（2）廃棄物削減に関する項目

① 一般廃棄物削減 《CO2 排出が削減できる再生材ゴミ袋の使用》

- ・ 丹念な分別で再生利用可能物質を抽出し、焼却時のCO2削減

② 廃プラスチックのリサイクル率アップ

- ・ 廃プラ・廃金属の分離分別実施

（3）水使用量削減

- ・ シンクから跳ね上がりしない水量で使用『30秒で（3L）節水取組』
- ・ 洗車時バケツを使用
- ・ 油汚れはウエスで拭い水使用量を抑制

（4）化学物質使用量削減

- ・ 調合量を多く作らない（塗料最小限）
- ・ 濾過機を最大活用し洗浄液の使用

（5）グリーン購入

- ・ エコマーク商品の周知
- ・ 発注時に対応品であるかを確認

（6）環境配慮（新車）HV・EV・FCV車比率向上（U-Car）HV車比率向上

- ・ イベントの告知などで、情報を発信（ECO テック&ライフとちぎ出展）

7：環境経営目標の実績、及び環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

I 環境取組結果

全社

項目	単位	2021年度 目標	2021年度 実績	目標との 差異	目標比%	評価 ○×
1. 二酸化炭素削減に関する項目						
1. 電気使用量	kwh	4251818	4204783	-47035	98.8%	○
2. ガソリン・軽油 使用量	ℓ	442458	403301	-39157	91.1%	○
3. 都市ガス・LPG 使用量	m ³	51922	38848	-13074	74.8%	○
2. 一般廃棄物（焼却ゴミ）	kg	89965	86220	-3745	95.8%	○
3. 廃プラスチック	kg	77230	78397	+1167	101.5%	×
4. 水使用量（上水）	m ³	39472	40789	+1317	103.3%	×
5. 化学物質使用量 （トルエン）	kg	975.24	777.54	-197.7	79.7%	○

◎入電力の排出係数は、平成29年度公表 京電力の排出係数 0.518kg-CO2/kwh を使用しています

II 取組み結果の評価 * 次年度の取組み

1. 二酸化炭素の削減

- ① 節電取組みとして人感知センサー付ライトの設置、照明 LED 化 * 取組み継続
- ② 社用車のハイブリッド入替 * EVの導入
- ③ エコドライブの車両管理(エンジン負荷軽減)、オイル交換、タイヤ空気圧調整、車両内の荷物減量、車間距離をとり速度の変化を抑制、アイドリングストップ・走行計画 * 取組み継続

2. 一般廃棄物削減

丹念な分別に取り組み リサイクル資源抽出

(小さくてもプラスチック資源が一般廃棄物に混入しないように分別実施) * 取組み継続

一般廃棄物(焼却ゴミ)の削減 CO2 排出量の抑制《CO2 排出削減できる再生材ゴミ袋の使用》

3. 廃プラスチック

焼却ゴミ資源抽出増大 * リサイクル分別の強化

4. 水使用量

削減には至らなかったものの、30秒節水、パケツを使用、油汚れはウエスで拭き実施、 * 洗車水の抑制

5. 化学物質使用量削減(トルエン)

溶剤の濾過再生を最大限行い再利用 * 取組み継続

8：環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1：環境関連法規等一覧

法令の名称	適用内容	規制内容	遵守状況
水質汚濁防止法	門型洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設の設置届出 水質基準の遵守 排水測定義務(年1回測定) 	○ ○ ○
下水道法/浄化槽法	下水道 浄化槽	<ul style="list-style-type: none"> 水質基準の遵守 設置時、変更時の届出 保守点検、法定検査実施 	○ ○ ○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	<ul style="list-style-type: none"> 点検実施 	○
大気汚染防止法	塗装施設排風能力 100,000m ³ /h以上	<ul style="list-style-type: none"> ばい煙、粉じん規制 揮発性有機化合物(VOC)規制 	○ ○
悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物収集運搬業者 処分業者と排出業者の委託 契約を締結 特別管理産業廃棄物 	<ul style="list-style-type: none"> マニフェストの発行及び 返送管理 産業廃棄物の適正な保管 委託契約の締結 有資格者が必要 	○ ○ ○ ○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者 引取業者の登録	<ul style="list-style-type: none"> 引取業者の登録申請 (5年毎に更新) 引取、リサイクル、公表報告 等の義務 	○ ○
PCB処理法	PCB廃棄物 (トランス、コンデンサー、 蛍光灯安定器)	<ul style="list-style-type: none"> トランス、コンデンサー 17年5月廃棄処理済 	○
PRTR法	PRTR法化学物質 (キシレン、ベンゼン等)	<ul style="list-style-type: none"> 使用量の把握及び届出 化学物質安全データ 入庫及び管理 現在は届出不要 	○ ○ ○
省エネルギー法	<ul style="list-style-type: none"> 店舗新設又は建増し等に伴う 面積が 300m² 以上が対象 エネルギー使用量が 原油換算で 1,500kl 以上 	<ul style="list-style-type: none"> 該当する店舗について届出済 届出済 適用外 	○ ○
高圧ガス保安法	LPG等を使用	<ul style="list-style-type: none"> 高圧ガス設備を工事した者は その旨を遅滞なく都道府県 知事へ届ける 	○
消防法 (市町村火災予防条例)	屋内貯蔵所 給油取扱所 少量危険物取扱所	<ul style="list-style-type: none"> 防火管理者の任命及び届出 屋内貯蔵所の届出 危険物保安監督者の選任 	○ ○ ○
労働安全衛生法	特定化学物質、有機溶剤等 の使用	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定(6ヶ月に1回) 特化物測定(エチルベンゼン) 局所排気装置の検査 有機溶剤作業主任者の選任 注意事項の看板を表示 定期健康診断の実施 	○ ○ ○ ○ ○ ○
廃棄物処理法	適正な自己処理、再生利用等の 減量努力の実施 産業廃棄物の排出事業者と収集 委託契約は書面で行う 特管物、環境被害の可能性がある 廃棄物を適正に処理する	<ul style="list-style-type: none"> マニフェストの返送管理 紙マニフェスト交付状況の報告 表示看板の掲示 産廃管理表の管理 産廃の保管・処分状況の確認 	○ ○ ○ ○ ○
栃木県生活環境保全等 に関する条例 (水質・騒音・振動)	上記法令に準ずる		—

8-2：遵守状況の確認評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

上記の環境関連法規に関して、2022年4月1日に遵守評価をした結果、違反はありません。

関係機関からの指導、違反、指摘はありません。また、訴訟についても過去に1件もありません。

9：代表者による全体評価と見直しの結果

【2】代表者の見直し結果	
昨今、ビジネスの変革が求められています。環境の取り組みや、社会貢献の取り組みを企業としてサステナビリティを追い求めることです。様々な環境が新型コロナによる変化や、カーボンニュートラルを目指すことによるEV車両販売の拡大などで大きく変化して行くターニングポイントであります。	
今までの取り組みを活かしつつ脱炭素に強い意識をもって新たな領域に挑戦しCO2排出量の削減を求め続け、如何にエネルギーを抑制しお客様の快適感を維持するか、個人個人の積み重ねで店舗、会社、グループ企業と重要な目標を目指し弛まぬ進化に努めていただきたい。	
環境経営方針	・変更の必要はない
環境経営目標	・環境関連法規を遵守、感染防止、カーボンニュートラル
環境経営計画	・安全な環境を維持してエネルギー削減に取り組むこと。
環境経営システム	・変更の必要はない。